

令和7年度



東浅草小だより

台東区東浅草 2-27-19 TEL 03(3875)0035 FAX 03(3871)9515

<https://www.taito.ed.jp/1310224>



台東区立東浅草小学校

校長 岩崎 公慈

10月号

令和7年9月30日



副校長 澁谷 哲宏

10月に入ります。今年の夏は暑い日が続きました。みなさま、体調の変化にはご留意ください。

さて、9月より学校だよりの配布をペーパーレス化し、SumaMachiでのデジタル配信に変更させていただきました。情報化社会の到来により、時代の変化は学校にも及んでいます。ペーパーレス化することで、情報発信を従来の印刷版配布と比べて、より早く、よりコストを抑えて、スマートに実施できるようにしています。保健だよりや給食だよりなども、デジタルでの情報発信に移行させていただいております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、SumaMachiが12月に運用を終了することに伴い、新しい配信システム「スクリレ」を導入します。詳細は改めてお知らせいたします。更に利便性を高めていけそうです。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

情報化社会の到来は授業にも及んでいます。児童は授業でタブレット端末を活用しています。教員は電子黒板を使って、デジタル教科書で授業を行っています。東浅草小に在籍している児童が生まれた時には、すでにタブレット端末やスマートフォンが活用されていました。私が生まれた頃には、当然、タブレット端末やスマートフォンなどの電子機器はありません。児童がこれからの時代を生きるために、ICT活用能力を身に付けることは必須です。そのために、学校では授業でICT機器の利活用を通して、基本的な操作を始め、今後の社会で求められる情報活用能力を高め、情報モラルやセキュリティのスキルを身に付けていきます。

さて、先日、5年生が東京都教育委員会による「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」で、ドローン操縦体験をしました。ドローンとは、無人で遠隔操作や自動操縦が可能な航空機の総称です。5年生は初めてのドローン操縦に戸惑っていましたが、ドローンが発進してすぐに墜落、着地で乱れるなど操縦に苦戦していましたが、徐々に操縦に慣れていきました。なぜなら、今回体験したドローン操縦はプログラミング学習で培った「論理的思考」を基に操作する活動だったからです。授業が進むにつれて、児童の操縦するドローンは、スムーズな発進、着地ができるようになりました。

児童のドローン操縦を通して、時代の変化に合わせた児童の成長を垣間見ました。私たちが生きる現代社会は、日々、日進月歩の技術革新が進んでいます。学校では児童が時代の変化に触れられるよう、今後も、様々な創意工夫を取り入れ教育活動を進めてまいります。



9月に転入生1名を迎え、全校児童295名になりました。

この度、長年にわたり救急業務の充実発展に対し貢献してきたとして、東京消防庁から感謝状をいただきました。今後も関係の皆様からのご指導ご助力をいただき、安全安心な学校運営を進めてまいります。

